

2016
3/21(月)祝
開場/14:30
開演/15:00
倉敷市民会館

第30回倉敷音楽祭 倉敷管弦楽団演奏会



Guest
落語家/
桂 九雀

特別参加
おかやま山陽高校
空手道部

Guest
箏曲演奏家/
山路 みほ

指揮/菊池 東
演奏/倉敷管弦楽団

プロフィール

山路 みほ

東京藝術大学音楽学部卒業。長谷校校記念第5回全国邦楽コンクール全部門総合第1位をはじめ、数々のコンクールにて優勝。全国ツアー(全18公演)、オーストラリアツアー(全25公演)など、国内外にて数多くコンサートを行っている。2013年度には文化庁より文化交流使に指名され、ロシアではモスクワ音楽院での教授活動を、またロシアをはじめ東欧9ヶ国(ドイツ・イタリア・スイス・スロベニア・オーストリア・スロバキア・ハンガリー・フィンランド・ラトビアの17都市)にて26公演を行う。日本国内でも「吉幾三ショー」やNHK教育テレビ「芸能花舞台」、NHK-FMラジオ「邦楽のひととき」などに度々出演。邦楽の古典や現代曲はもちろん、洋楽器や各国の伝統楽器との共演、落語やお芝居・ミュージカルなどとの共演など、邦楽の枠を超えた幅広い活動を繰り返し続けている。現在までに東京・岡山にて7回のリサイタルを開催。岡山芸術文化

賞準グランプリ受賞、倉敷市文化連盟奨励賞受賞、福武文化奨励賞受賞。現在、東京藝術大学同声会、森の会会員。岡山大学非常勤講師。

おかやま山陽高校空手道部

本校空手道部は創部58年という歴史ある部活動で目指せ日本一の桃太郎を合言葉に日々練習に励んでいます。長い歴史に加え、本校では全校生徒が空手道を正規の授業として学ぶことも特徴のひとつです。9月に行われます体育祭では、2年生全員と空手道部員による集団演技を行っています。

空手道部の成績としては毎年8月に行われる夏のインターハイに39年連続出場という記録を持ち、また今年25日から北海道で行われる全国選抜大会は今年度で35年連続出場を果たしました。チーム全員で一致団結して頑張っていきたいと思っておりますので、応援のほど宜しくお願いいたします。

倉敷管弦楽団 本日の出演者

○指揮
菊池 東

○ソロ・コンサートマスター
佐藤真理子

○第1ヴァイオリン
阿曾沼和代
荒木加英子
小林 佐知
妹尾 恵子
藤田 真理
丸山 博樹
萬野 雄也
森安 鋭子
柳井 典子

○第2ヴァイオリン
黒田 充亮
中川 雅美
上原 保美
大村 奈美
岡崎 将丈
串部 美幸
平松 綾
富永 恵
中塚えりか
原田 洋輔
三宅 郁子

○ヴィオラ
松江 靖子
鮑浦 良和
赤塚 佳代
岩瀬 裕子
片山佳央理
黒田 和宏
武本 克己
野田 卓也
*大道 真弓

○チェロ
松江 雄二
栗木由美子
石川 恵子
大西 智幸
田中 光子
*田辺 幹夫
辻田 順子
平松 真弓
松本 圭子
矢田 義比古

○コントラバス
糸島 早苗
魚住 菜月
本屋敷勝信
*岡崎謙一郎
*河本 直樹
*仲原 利江

○フルート
河村 香織
月本 裕子
宮尾 紀子

○オーボエ
イングリッシュホルン
瀬尾 祥治
羽井佐浩気
吉田 容子

○クラリネット
バスクラリネット
福島 恭子
松本美和子
安原 由美

○ファゴット
コントラファゴット
浅野 絢子
梶房 聖仲
*黒田 真季

○ホルン
相澤 弘明
澤田 秀実
濱口 桃子
吉市 幹雄
*濱 賢司
*金田 英大

○トランペット
原田 宗範
柚木 麻澄
山口 裕美

○トロンボーン
樋口 仁
*下山 貴大
*林 智洋

○チューバ
浅野 尚行

○バンダ
ホルン
*佐中 祥希
*宮地 喜子

トランペット
*森元 陽介
*樋口 雅明
*宮里 錬

トロンボーン
松田英一郎
*小池 悠子
*松本沙也加

○打楽器
長谷川清司
*井上 充隆
*今井 忍
*河田江理奈
*神野 真由美
*吉野 浩美

○ハープ
竹村 知子

○ピアノ
*島山 勝子

○エレクトーン
*片山 直子

*客演
**前団長、今回不参加

ごあいさつ

第30回倉敷音楽祭「倉敷管弦楽団演奏会」の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

倉敷音楽祭は、昭和62年に、新市発足20周年を記念して始まったものであり、平成21年からは、日本各地で育まれた特色ある音楽芸能を紹介する「地域間文化交流」をコンセプトとして開催しております。

この「倉敷管弦楽団演奏会」は、岡山県を代表する歴史ある地元のオーケストラ「倉敷管弦楽団」が、日本各地の地域色豊かな作品や子どもから大人まで楽しめる作品を演奏するシリーズ企画であり、今回で8回目を数えることとなりました。

今年の倉敷音楽祭は、30回を記念して、地元倉敷を中心とする中四国エリアの様々な音楽芸能と交流することとしています。今回の演奏会でも、玉島在住の世界的な箏曲演奏家・山路みほさんと広島出身の落語家・桂九雀さんをゲストに、倉敷と中四国ゆかりの曲や広く子どもたちも楽しめる曲が演奏されることとなっており、御来場の皆様もお馴染のメロディーを迫力のオーケストラサウンドで御堪能いただけるものと期待しています。

文化芸術は、人々に楽しさや感動、また精神的な安らぎをもたらし、人生を豊かにするものです。この音楽祭を通じ、我が国の音楽文化の素晴らしさを再確認し、音楽を心の栄養として豊かな感性を育てていただきたいと思います。

結びになりますが、倉敷管弦楽団と御来場の皆様の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます、ごあいさつといたします。



倉敷市長

伊東香織

プログラム

D.ショスタコーヴィチ / 祝典序曲

小六禮次郎 / 交響詩「瀬戸内賛歌」より、 第1楽章

團 伊玖磨 / 管弦楽のための高梁川より、 第1楽章「流れ、歌、踊り」

藤井 凡大 / 和楽器と管弦楽協奏のための一楽章 箏：山路 みほ

日本古謡 / 吉市 幹雄編曲「さくらさくら」 特別出演：おかやま山陽高校空手道部

—— 休 憩 ——

S.プロコフィエフ / 子供のための交響的物語

「ピーターと狼」

語り：桂 九雀

O.レスピーギ / 交響詩「ローマの松」

第1部 ボルゲーゼ荘の松

第2部 カタコンバ付近の松

第3部 ジャニコロの松

第4部 アッピア街道の松

曲目紹介

D.ショスタコーヴィチ / 祝典序曲

ショスタコーヴィチは、ソビエト連邦時代の作曲家。祝典序曲はソビエト政府からの委嘱で1947年に十月革命30周年を記念して作曲されました。その7年後、ロシア革命37周年記念演奏会で初演されました。華々しい金管楽器のファンファーレに続き快活な主部となります。終結部では、バンドの金管楽器も入り、勇壮に終了します。

小六禮次郎 / 「瀬戸内賛歌」より第1楽章

小六禮次郎氏は、岡山県岡山市出身の作曲家です。映画、テレビ、ミュージカル、CM作品からオペラ、交響詩まで幅広いジャンルの作品があります。瀬戸内賛歌は、1988年、瀬戸大橋開通を記念し、第2回倉敷音楽祭でとりあげられました。倉敷市民にとって青く澄んだ瀬戸内海とは切っても切れない深い縁があります。また、世紀のプロジェクト「瀬戸大橋」が開通したことの意義がこめられており、合唱を含めた大きな作品です。

團 伊玖磨 / 「管弦楽のための高梁川」より

團伊玖磨氏は、東京芸大卒業後、オペラ「夕鶴」、合唱曲、歌曲など多数創作しました。「管弦楽のための高梁川」は、昭和55年、倉敷市自主文化事業協会、高梁川流域連盟からの依頼を受けて作曲、同年5月31日、團伊玖磨氏指揮、倉敷管弦楽団により初演されました。

藤井 凡大 / 和楽器と管弦楽協奏のための一楽章

藤井凡大(1931～1994)氏は、日本の作曲家、指揮者、音楽教育家です。幼児の頃から母に生田流箏曲を学び、九州大学工学部へ進学し、在学中より作曲を始めました。全国邦楽コンクール作曲部門で、この「和楽器と管弦楽協奏のための一楽章」を自演(箏)して作曲部門の第1位となりました。以降、作曲、指揮、音楽教育で尽力しました。「和楽器と管弦楽協奏のための一楽章」は、邦楽と洋楽が渾然一体となった、大変ユニークな音楽です。

S.プロコフィエフ / 子供のための交響的物語「ピーターと狼」

ロシアの作曲家セルゲイ・プロコフィエフが作曲した子供のための音楽作品で、ナレーターと小編成のオーケストラのために書かれています。ロシアの民話をもとに、作曲者自身がストーリーをつけました。快活な少年ピーターと、動物たちが登場する物語です。桂九雀さんの語りで、お楽しみください。

O.レスピーギ / 交響詩「ローマの松」

イタリアの作曲家レスピーギの交響詩です。この前後に作曲したローマの噴水、ローマの祭りと共に「ローマ三部作」と呼ばれています。曲は4部に分かれていて、それぞれ、作曲者自身がコメントしています。(「」で引用)

第1部 ボルゲーゼ荘の松

「ボルゲーゼ荘の松の木の下で、子供たちが遊んでいる。子供たちは輪になって踊り、兵隊の真似をし、行進したり、戦争ごっこをする。子供たちは、自分たちの叫び声に酔い、大空の下で駆け回り、夕暮れに帰る燕のように群をなして退散して行く。情景が突然変わる。」

第2部 カタコンバ付近の松

「カタコンバに入る道の両側に立ち並ぶ松の木かげ。墓地の奥底から悲しげな声が上がって来て、荘重な聖歌のように拡がり、やがて神秘的に消えて行く。」

カタコンバとは古代ローマでの初期キリスト時代の墓のことです。

第3部 ジャニコロの松

「大気(風)がゆらいで走る。ジャニコロの丘の松が、清らかな月光に浮かび上がる。ナイチンゲール(夜鶯)が鳴く。」

第4部 アッピア街道の松

「霧に包まれたアッピア街道の朝。高い松並木の陰に、静かな平原の景色が見える。突如として、多数の兵士の足音の響きが、絶え間無いリズムをとって聞こえてくる。古代の栄光が、詩人の幻想に蘇える。ラッパの音がとどろき、太陽の光が射すとともに、執政官の軍隊が現われ、聖なる街道を行進して、首都へ凱旋していく。」
古代ローマの進軍道路として使われたアッピア街道の石畳の道は、今も残っています。

プロフィール

桂 九雀

1979年(昭和54年)3月1日 桂 枝雀に入門。マイクروفオンを使う必要のない会場で、生の声、生の三味線、生の鳴物による落語会の開催に力を入れている。また、一風変わった落語会のプロデュースも多数。(落語と音楽のコラボ企画、ネタの虫干し etc) 1984年 放送作家・東野 博昭が旗揚げしたカラードシアター・ヘテカラで演劇の初舞台。以降、ヘテカラ全公演、劇団リリパットアーミー、劇団MOTHERなど関西小劇場等へ多数客演。'05年7月には落語的手法による芝居「嘶劇(しんげき)」

をスタートさせ、継続的に公演を行っている。吹奏楽団やフルートオーケストラと共演し、楽曲の語りを一人芝居形式や落語形式で演じたりと、音楽の世界とのつながりも広げている。その他、1993年よりスタートし、南座名物公演となっている「歌舞伎鑑賞教室」での解説役も勤める。持ちネタ数が多く2012年5月下旬で145あったが、突如「持ちネタ総入れ替え宣言」をして、過去の持ちネタを捨てたので、現在、ハイペースでのネタおろし中。趣味/将棋(アマチュア三段)・詰将棋創作・クラリネット